

日本 J/24 クラス協会定時総会議事録

2015年11月21日16時15分より、和歌山セーリングセンター2階会議室において日本 J/24 クラス協会定時総会を開催した。

議決権のある正会員数	46名
出席した議決権のある正会員数 (委任状及び議決権行使書による者を含む)	37名
出席理事	松本 浩司 (TEMPUS4) (議長兼議事録作成者)
同	桂 禎之 (UP WIND)
同	高野ユンタ (リトルママ)
同	白濱 重敏 (WHITE SQUALL)
事務局	室橋紅里子 (LULL)

定刻にいたり、司会・室橋紅里子が、以上の通り議決権のある正会員の過半数に相当する正会員の出席があり、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣言した。

次いで、規約 21 条に基づき、会長の松本浩司が議長に就任した。

報告事項

「2016年 J/24 世界選手権和歌山大会開催への JJCA の方針について」

議長より、本件について下記の通り、説明があった。

1. IJCA の現状と連携について

① IJCA の組織について

アメリカ・クリーブランドに本部を置き、クリス・ハウエル夫妻がその事務局を担っている。

IJCA 会費の \$ 15 の年会費とセールタグ代金で \$ 6 万 5 0 0 0 予算。そのうち

\$ 3 万がクリス夫妻に支払われ、その他は事務費、交通費、その他にあてられている。

② IJCA との連携について

就任後、毎年 WCM に参加し、各国理事及び J/24 の計測委員長とも連携を取ってきていて、2016 年の大会への計測チーム、ジュリーチームの招聘も決まっている。

2. 2016 年の大会に向けた JJCA の方針

① 世界レベルの競技会の実施

(a) トップセーラーの参加

(b) 世界標準のレース運営、ジュリーメンバーの構成及び世界標準の計測

② JJCA 積立金の有効活用

(a) キールテンプレートの新規作成及び計測備品の整備。

(b) 昨年のワールドへの計測員の派遣、本年のワールドへのジュリーの派遣、全日本への IJCA 計測

員の招聘。

(c) 本来、ワールド前年の WCM は開催国（日本）でのことになるが、渡航距離等の問題でマイアミにて開催してもらったため、懇親会の費用を JJCA で負担。

③ 競技者、チーム、艇数の増加を目指す。

(a) 海外からの艇 移送艇、新規オーナー（案）

・海外からの参加艇をできる限り多くしたいため、移送艇への費用負担、宿泊場所に関して海外艇の優先。

(b) JJCA 会員数 ジュニア会員制度（実行済み）

(c) レガッタ開催 全日本選手権以外の公式レガッタ（案）

④ スポンサー

現時点で数社からのスポンサーを約束されているが、さらに探していきたい。

⑤ チャーターボート

現時点で 8 艇のチャーター確約。さらに、各オーナーへの接触。

決議事項

第 1 号議案 2014 年度収支決算案承認の件

議長は、昨年度の日本 J/24 クラス協会の収支について説明し、2014 年度収支決算案の承認を求めた。総会は、満場異議なく当該収支決算案を承認可決した。[®]

第 2 号議案 2016 年度収支予算案承認の件

議長は、来年度の J/24 クラス協会の予算について、赤字予算案になっていることについての説明をし（ジュニア会員制度の導入、JSAF 会員登録方法変更に対しての会費減額等）、さらに JJCA 積立金の有効活用について再度説明をして、2016 年度収支予算案の承認を求めた。総会は、満場異議なく当該収支予算案を承認可決した。

以上をもって本総会における全議案の審議を終了したので、議長は 17 時 00 分閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするために本議事録を作成し、議長が次に署名する。

2014 年 11 月 30 日

日本 J/24 クラス協会

松本 浩司

議長・理事 松本 浩司